

GCAサヴィアン株式会社

2015年12月期 上半期(1月－6月)決算説明資料

2015年7月29日

**GCA
SAVVIAN**

(東証1部：コード2174)

2015年上半期の業績

2015年上半期の総括



売上高は4,979百万円(前期比約27%増)、営業利益は710百万円(前期比約2倍)と増収増益となった。



受注残高は依然として高水準である。多くの案件クローズは第3四半期以降に予定されており、下半期において収益計上される見込み。



今年は“投資の年”であり日米でマネジング・ディレクタークラスを積極的に採用する。採用環境は厳しいが引き続き採用活動を強化する。



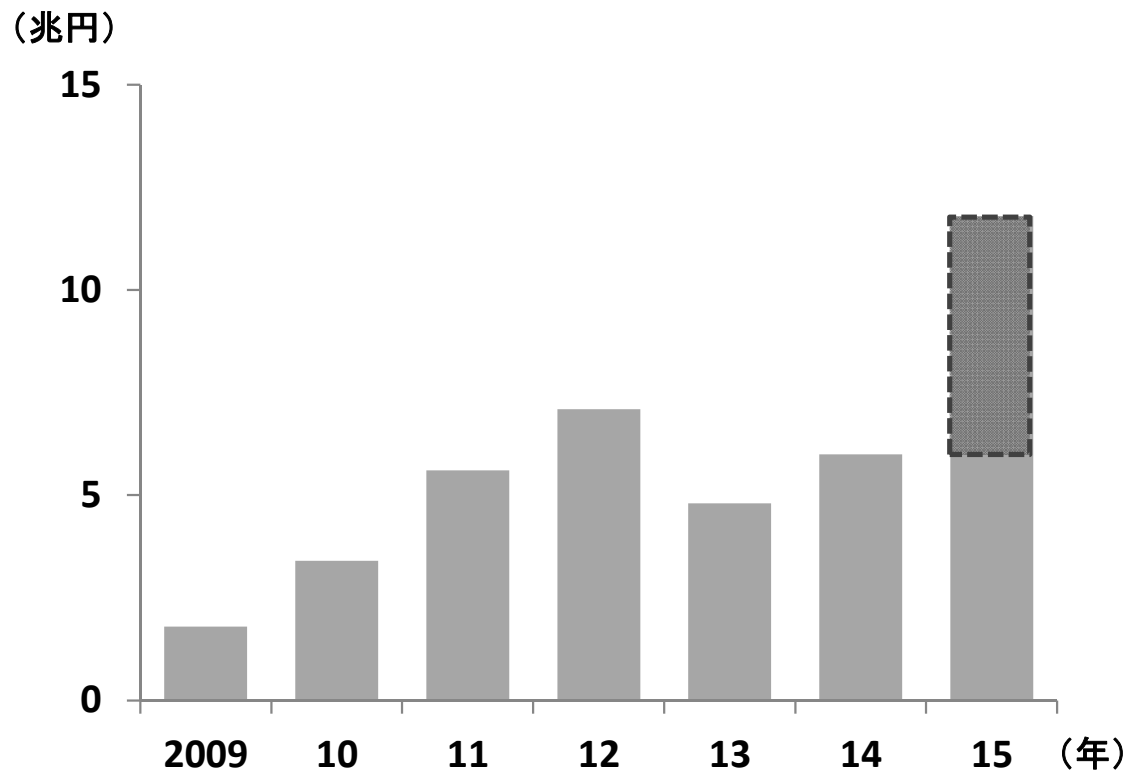
役職員のストックオプション行使による希薄化を回避する目的で第2四半期に18億円の自社株買いを実施。



資本政策として、配当と自社株買いによる100%株主還元を継続。中間配当を5円から10円に増額し、6月末基準で8月10日に支払予定。

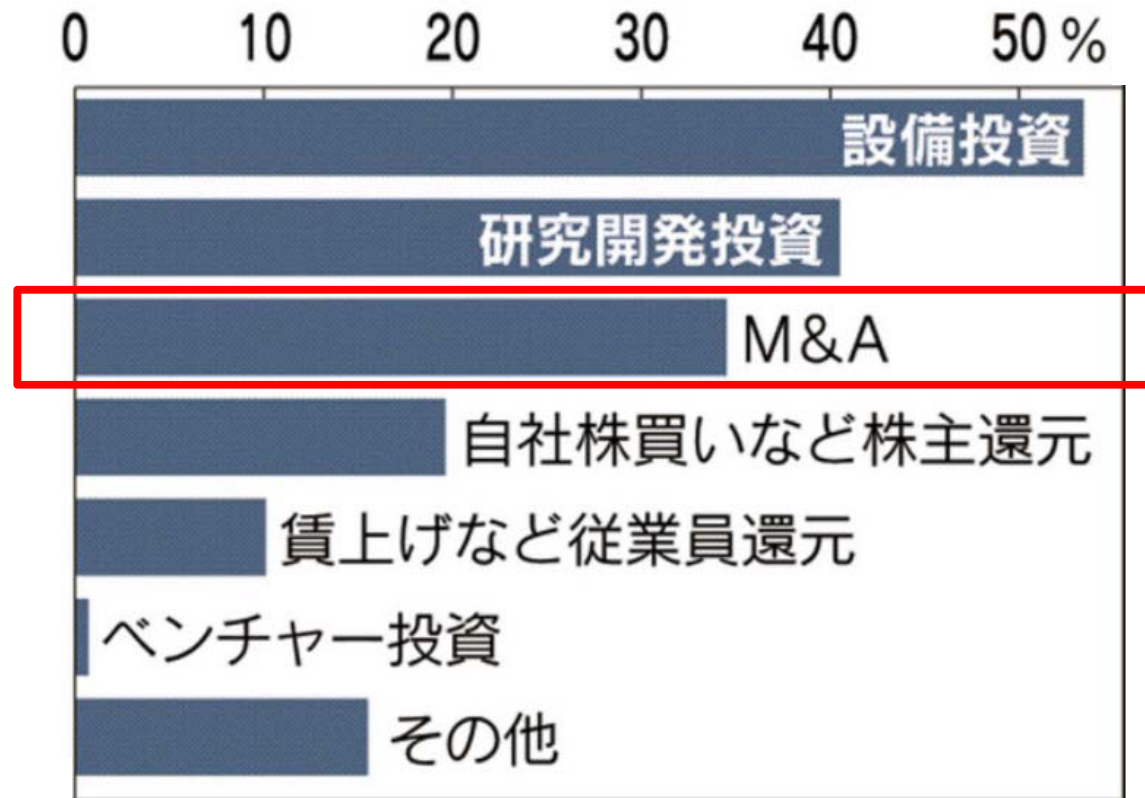
日本企業による海外企業の買収は大幅に増加

- ✓ 案件公表ベースでは、日本企業による海外企業の買収は2015年上期だけで6兆円となり、既に2014年の1年分の規模となった。
- ✓ 成長の源泉を海外に求め、積極投資が本格化している。



日本企業の手元資金の使途

- ✓ 社長100人アンケートによる日本企業の手元資金の使途でM&Aが30%超となっている。
- ✓ 円安下でも8割の経営者が海外のM&A計画を積極的に推進すると回答。



2015年上半期の業績(ドメイン別売上)

- ✓ 日米ともにアドバイザー売上高が増収、前期比32%となった。
- ✓ 営業利益は2倍、純利益は2.5倍、受注残は引き続き高水準である。

(単位:百万円)

	実績 ⁽¹⁾				前期比	増減率
	2015 1H	率	2014 1H	率		
売上高						
アドバイザー日本	2,483		2,053		430	20.9%
アドバイザー米国	2,362		1,626		736	45.3%
アドバイザー計	4,845		3,679		1,166	31.7%
アセットマネジメント	134		247		(113)	(45.7)%
売上高合計	4,979		3,927		1,052	26.8%
投資控除前 営業利益	849	17.1%	510	13.0%	339	66.5%
成長のための投資	139		163			
営業利益	710	14.3%	347	8.8%	363	104.6%
純利益	462	9.3%	170	4.3%	292	171.8%

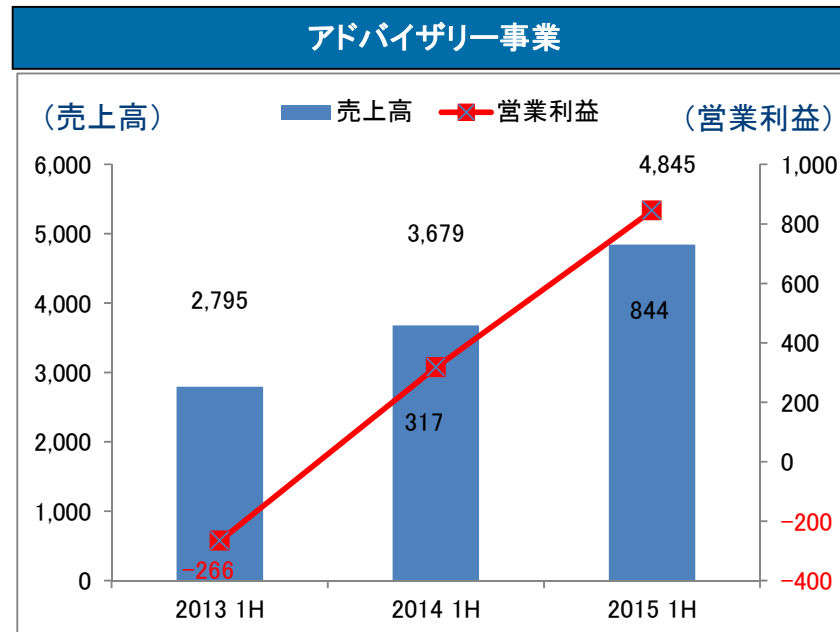
「成長のための投資」には、シニアメンバーの採用費用等が含まれている

注) 前期よりインドおよび中国の現地法人を連結の範囲(日本リージョン)に含めています。
 2015年2Q実績の平均為替レート: ¥120.24/US\$および¥183.30/GBP
 2014年2Q実績の平均為替レート: ¥102.47/US\$および¥171.02/GBP

2015年上半期のアドバイザー事業の業績

- ✓ アドバイザリー事業の売上高は前期比32%の増収、営業利益は約2.7倍の増益
- ✓ 現在の受注残から下半期には更に伸長する見込みである

(単位:百万円)

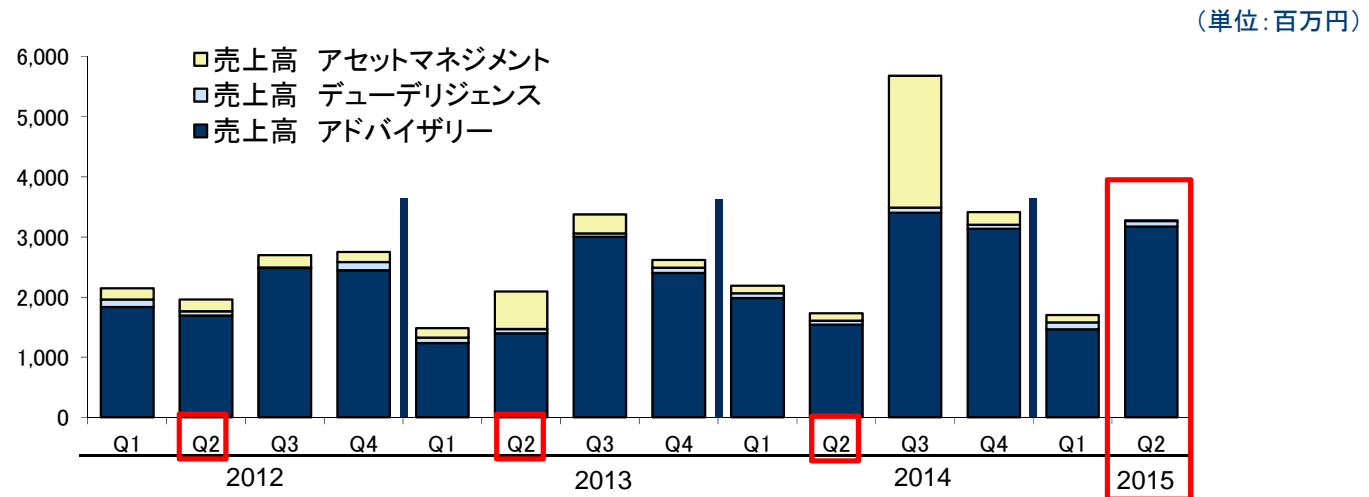


注) 前期よりインドおよび中国の現地法人を連結の範囲(日本リージョン)に含めています。
 2015年2Q実績の平均為替レート: ¥120.24/US\$および¥183.30/GBP
 2014年2Q実績の平均為替レート: ¥102.47/US\$および¥171.02/GBP
 2013年2Q実績の平均為替レート: ¥95.59/US\$および¥147.39/GBP

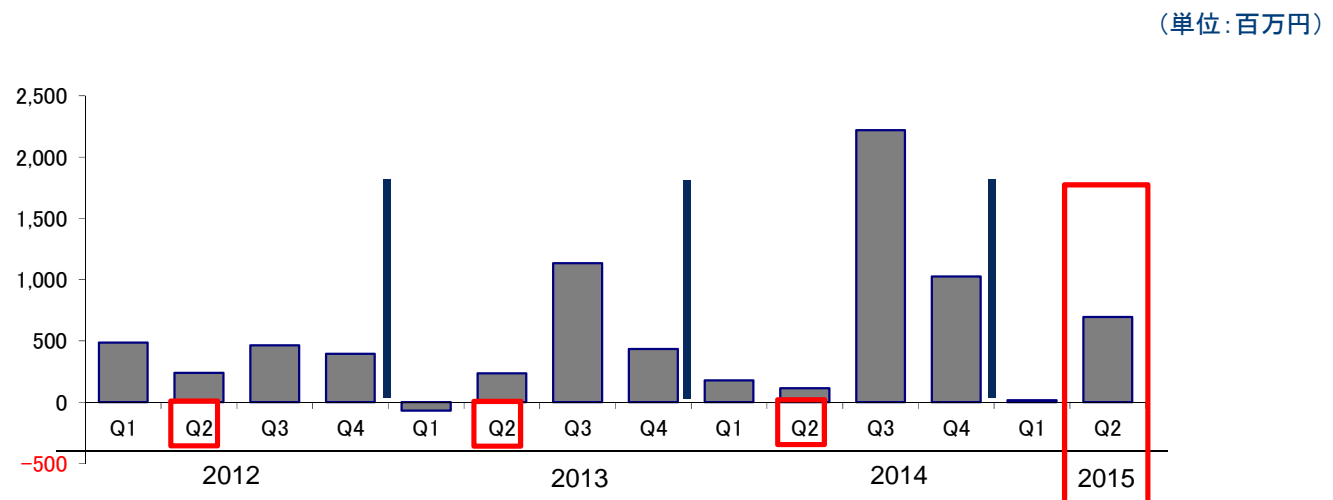
売上・営業利益の四半期推移

✓ 過去の第2四半期と比較して最高水準の売上高となった。

売上 四半期推移 (ファンド非連結ベース)



営業利益 四半期推移 (ファンド非連結ベース)



GCAサヴィアのランキング

2015年2Qの日本関連リーグテーブルにて公表案件数ベースで第7位

2015年2Q (4-6月) 日本企業のM&Aにかかわった ファイナンシャルアドバイザー(公表案件数ベース)			
アドバイザー		取引金額 JPY mil.	案件数
1	野村証券	888,029	29
2	三井住友FG	551,279	19
3	みずほFG	324,874	16
4	三菱UFJモルガンスタンレー	763,011	7
5	大和証券	110,179	7
6	PwC	25,268	7
7	GCAサヴィア	93,000	5
8	デロイト	52,237	5
9	フロンティアマネジメント	15,450	5
10	メリルリンチ	432,327	4

バランスシート

- ✓ 自己資本比率は**81%**と高水準を維持
- ✓ シンプルで健全なバランスシート

(単位:百万円)

科目	2015/6 ⁽¹⁾	2014/12 ⁽²⁾
現預金等	7,237	9,412
売掛金	1,226	918
営業投資有価証券	128	598
その他	831	516
流動資産	9,423	11,443
有形固定資産	204	199
投資有価証券	254	319
その他	860	1,227
固定資産	1,317	1,744
資産合計	10,741	13,188
未払法人税	433	879
その他	1,563	3,597
負債合計	1,997	4,476
株主資本	7,844	7,819
自己株式	0	(241)
為替換算評価額等	900	1,135
純資産合計	8,744	8,712
負債・純資産合計	10,741	13,188

自己資本比率→

81%

注 (1)2015年6月30日の為替レート : ¥122.48/US\$および¥192.75GBP

(2)2014年12月31日の為替レート : ¥120.53/US\$および¥187.01GBP

(3)当社の子会社が運営するメザニンファンドへ出資している1%の持ち分

2015年2Qの代表的な案件

日米それぞれの主な国内案件



Daichi-Sankyo
alfresa

第一三共によるアルフレッサ
ファーマへの第一三共プロ
ファーマ秋田工場の譲渡
(第一三共へのアドバイザー)

2015年4月クローズ



ROOT Metrics™
IHS

IHSによるRootWireless
Inc.の買収
(RootWireless Inc.への
アドバイザー)


2015年4月公表



Sumitomo Corporation
Imagica Robot
Holdings Inc.
COOL
JAPAN
FUND
sdi
MEDIA

イマジカ・ロボット、海外需要
開拓支援機構、住友商事に
よるSDI Mediaの買収
(イマジカ・ロボット、海外需
要開拓支援機構、住友商事
へのアドバイザー)

2015年4月クローズ



Amphenol
FCI

Amphenol Corporationによる
FCI Asia Pte Ltd.の買収
(Amphenol Corporation
へのアドバイザー)

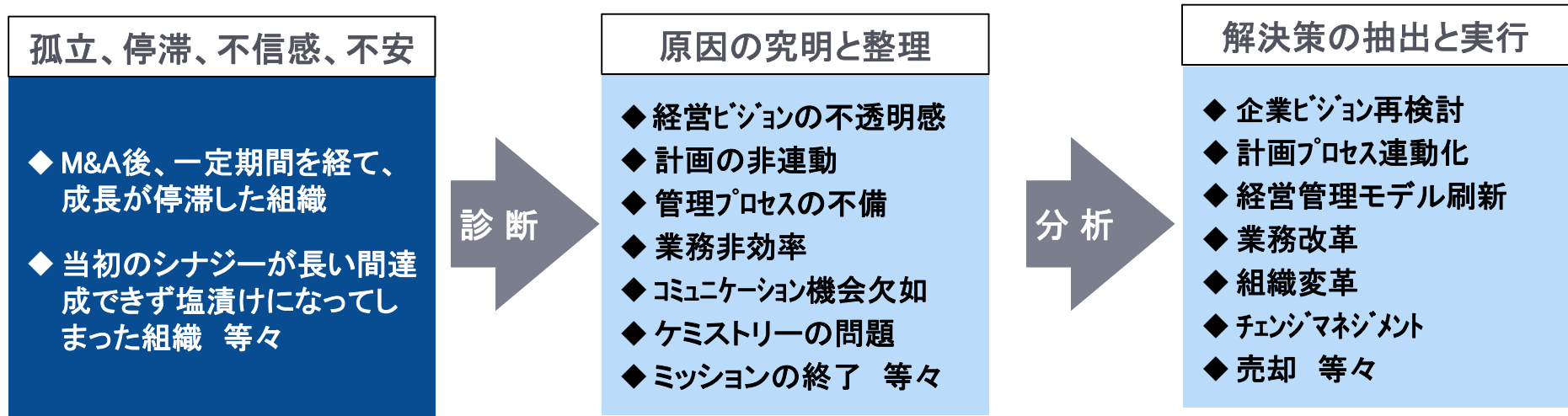
2015年6月公表

注) 「日本たばこ産業が保有する飲料自販機オペレーター事業子会社の株式譲渡及び清涼飲料ブランドの譲渡(日本たばこ産業へのアドバイザー)」は7月の公表であり第3四半期の案件となります。

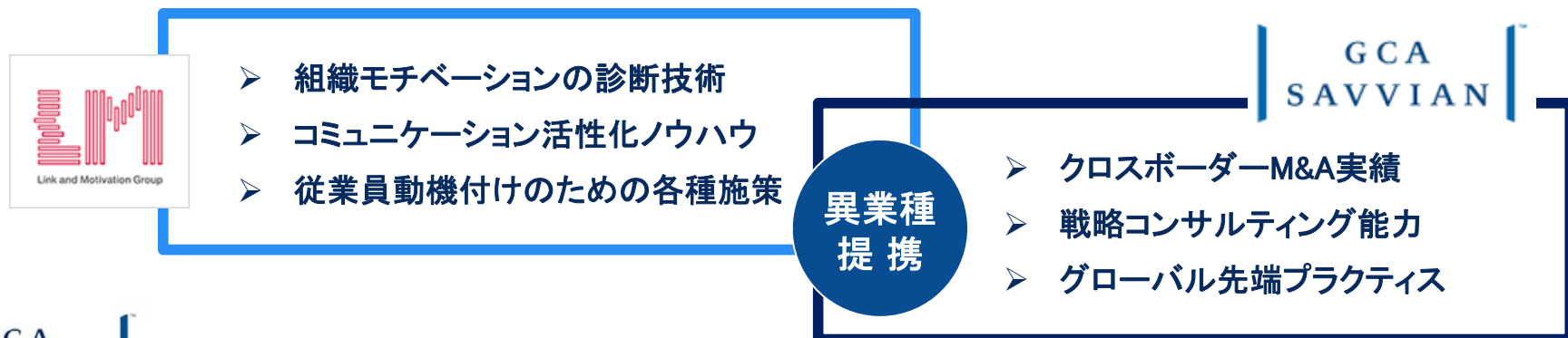
PMI:リンクアンドモチベーションとの提携

「Activation PMI」事業の発進

M&A後、一定期間を経て、停滞・孤立してしまっている組織の再活性化



GCAサヴィアのすべてのM&Aでは、「組織、従業員のモチベーション」をシナジー享受のための重要な要素として配慮



コーポレートガバナンス改革

日本でも独立系の時代がやってくる

- ✓ 米国では1990年代にガバナンス改革が起こり、その後独立系のM&Aアドバイザリーファームが大きく成長した。
(現在、ラザード、グリーンヒル、エヴァコア、モーリスとNYSE上場会社は4社となっている。ブラックストーンも分社化して上場準備中。)
- ✓ 独立社外取締役が経営者を一層監視し企業価値向上を実現。
- ✓ 利益相反の観点から、大型のM&Aの際には独立系を活用するという潮流がはっきりしてきた。

東洋経済2015年 6月20日号に当社代表である渡辺章博のインタビュー記事が掲載されました



中間配当の実施

- ✓ 配当予想は年間最低10円→20円へ増額したことにより
中間配当を5円→10円へ増額して実施
(6月末基準日、支払日も1か月早め8月10日とした)
- ✓ 純利益の100%株主還元策を継続

高株主還元率
高ROE

当社の成長のための主要な投資は人財であり、投資した年の期間費用となる。従い、「成長投資後」の純利益は全て株主還元が可能。

自社株買いの実施

第2四半期に自社株買いを実施

期首の自社株買いの予算	17.8億円
今回実施した自社株買いで使用	5.2億円

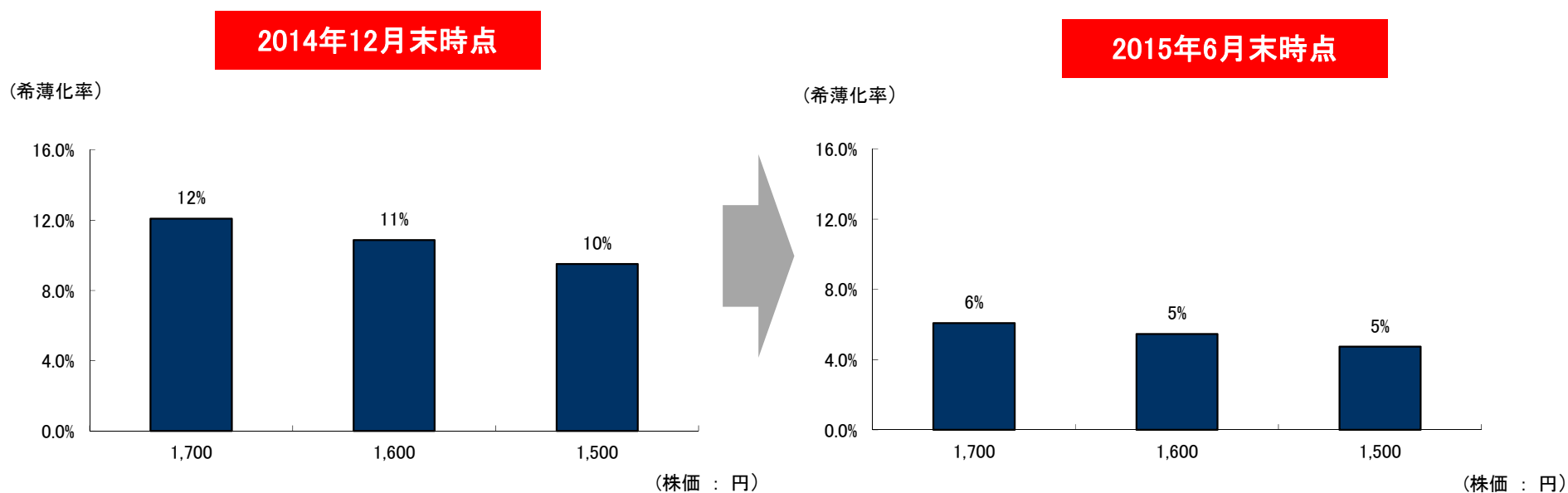
自社株買いの残予算	12.6億円

今回の自社株買いは役職員のストックオプション(SO)行使による希薄化を回避する目的。18.4億円の自社株買いのうちSO行使により入金した13.2億円を控除すると実質5.2億円を自社株買いで使用。

ストックオプションによる希薄化率の改善

今回の自社株買いにより、希薄化率は大幅に改善

SO行使により入金される金額で自社株買いをした場合の希薄化率 (2016年3月までの権利確定分)



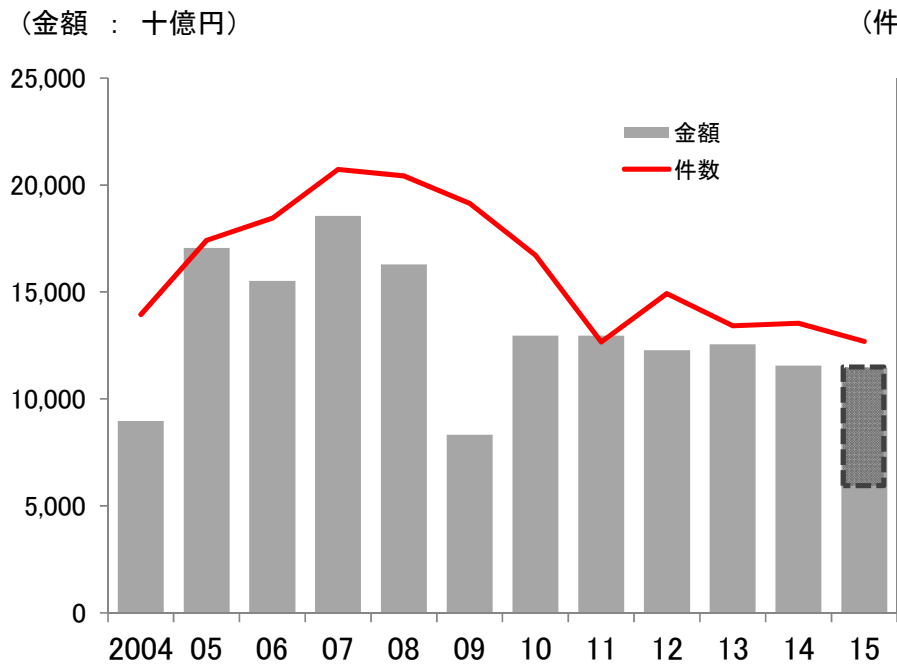
株価1,700円の場合の希薄化率は、2014年12月末時点の12%から6%へ半減。
自社株買いの残予算12.6億円を投入すれば、更に3%まで減少する。

Appendix

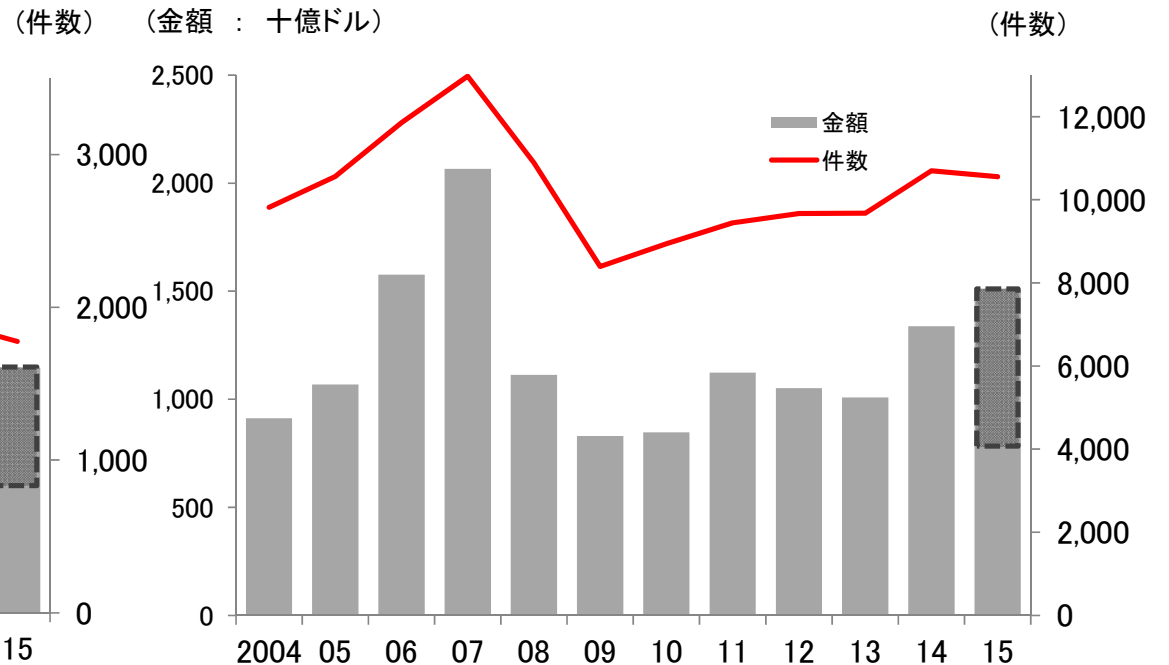
日米のM&A市場の推移(完了ベース)

- ✓ 2015年の日本市場は案件完了ベースでは金額・件数共に前期と同程度
- ✓ 米国市場は件数ベースでは微減だが、金額ベースでは増加

日本のM&A市場

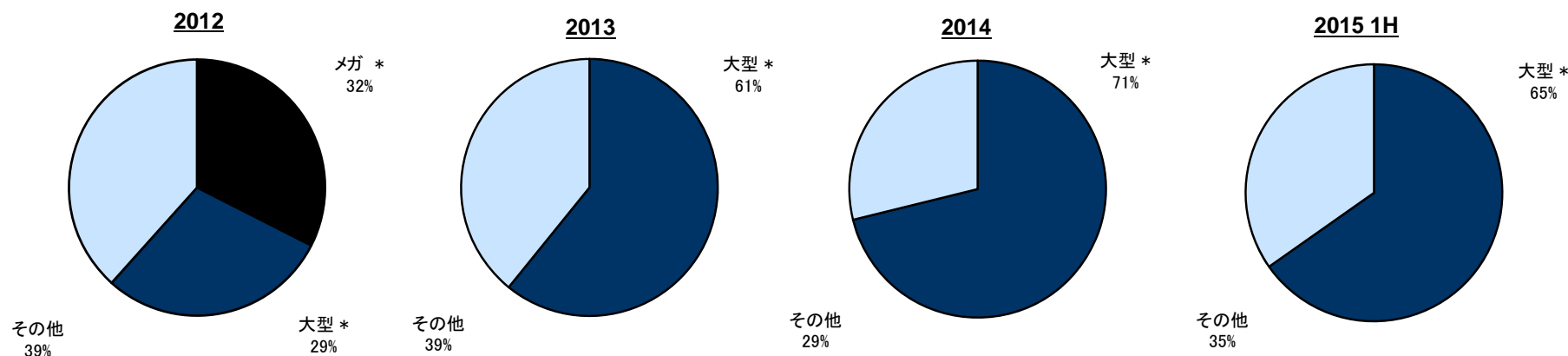


米国のM&A市場



M&Aアドバイザー事業の補足データ

大型案件比率（金額ベース）



プロフェッショナルの推移

四半期別平均	FY2014				FY2015				FY2015 期末
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
アドバイザー日本	78	81	84	84	90	101			101
アドバイザー米国	60	65	65	66	67	65			70
アドバイザー欧州	1	1	1	1	1	1			1
デューデリジェンス	29	28	23	20	20	21			21
アセットマネジメント	9	8	8	8	8	9			8
	177	183	181	179	186	197			201

(単位:人)

“ Trusted Advisor For Client’ s Best Interest ”

当社はグローバルな「上場M&Aソリューショングループ」=「社会の公器」として価値創出型のM&Aソリューションを提供することにより、クライアントの成長と世界経済の発展に貢献してまいります。



本資料は、GCAサヴィアン株式会社の事業及び業界動向についてのGCAサヴィアン株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。GCAサヴィアン株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、本資料公表日現在において入手可能な情報に基づいて、GCAサヴィアン株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載を更新し変更するものではありません。また、掲載された情報の内容の正確性、有用性、また適切性等について、当社は一切保証するものではなく、本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがあります。